

④ 材料をじょうずに使
いわけろ。

記入用ペンをはじめ
各種の自作に必要な材
料が市販されているの
で、それらをじょうず
に使わけることがた
いせつである。

⑤ 文字の大きさに気
をつける。

よい資料でもよく見
えなくては効果はな
くなる。文字が小さ
すぎるが多いため
気をつけるように
したい。一般に普及
しているOHPの拡大
率は、投影距離を2
mとすると5倍～8
倍程度である。し
たがってTPシート
に1cm角で書かれた
文字はスクリーン上
に5cm～8cm角の
大きさで映し出さ
れる。

図-30は、投影距離を2mとした
ときの学習者からスクリーン
までの距離と映し出された
文字の見やすい大きさの
関係を示したグラフである。

このグラフからわかるように普通
教室（最後列の学習者まで約10m）
で使用するTPの場合、使用する
文字の最小限の大きさは漢字
では1cm角以上、数字・ローマ
字、かなは0.8cm角以上と
考えればよい。

さらに学年の発達段階を考慮して
文字の大きさをきめるように
する。

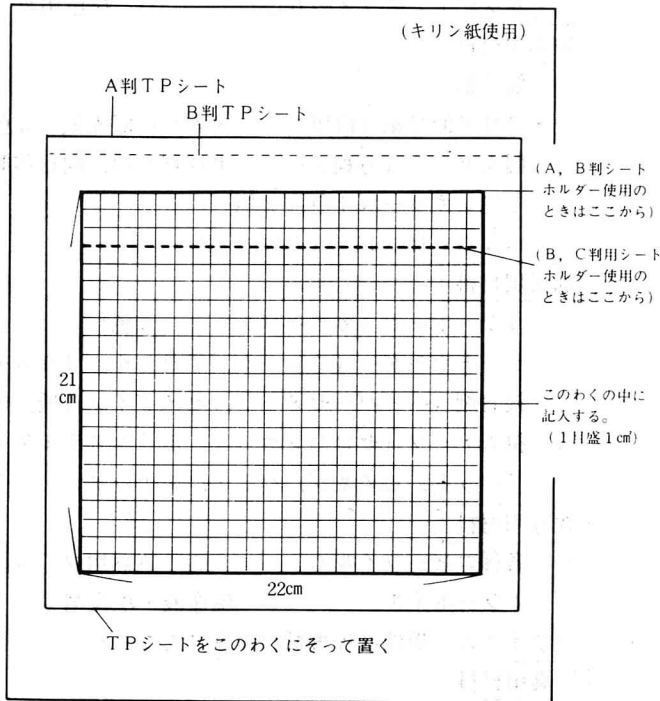


図29 自作TP下書き用紙
(必要に応じて切りぬき全体部分提示法のマスクの用紙にも使える。)

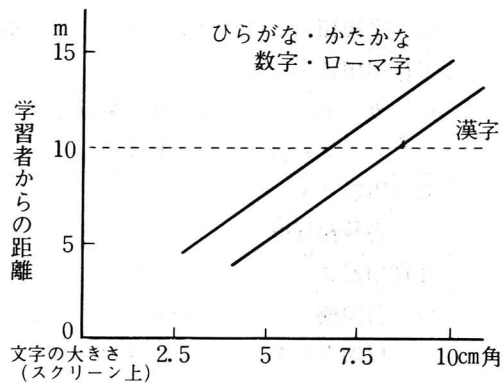


図30 学習者からの距離と文字の大きさ
(投影距離2mのとき)